

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立池上小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・地域の町探検や店調べなど身近な内容の調べ学習にすすんで取り組むことができた。
- ・表やグラフ、絵や図など資料を活用して、読み取ったり、調べたり、まとめたりすることができる児童が増えた。
- ・発表し合う場を多く設けることで、自分の考えを広めたり深めたりすることができる児童が増えた。
- ・高学年は、令和3年度から教科担任制になったこともあり、教師側の教材研究の時間を多く確保し、授業を工夫することができたため、児童が社会科の授業に興味・関心を高めることができた。

(2) 課題

- ・資料の内容を正しく読み取り、複数の資料を比較したり、関連付けたりして資料を総合的に読み取り、的確に表現する力が低い。
- ・大事な言葉やキーワードを正しく理解し、思考することに個人差がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	観点別でも領域別でも、すべての観点において目標値を上回った。		
第5学年	観点別では、すべての観点において目標値をやや上回った。また領域別では、「都道府県の様子について」の正答率が目標値をやや下回った。	観点別では、全ての観点において目標値をやや下回った。領域別でも全ての領域で目標値をやや下回った。	
第6学年	観点別では、思考・判断・表現の観点で、目標値を下回った。領域別では、「国土の自然などの様子」の正答率が目標値を下回った。	観点別では、思考・判断・表現の観点で、目標値をやや下回った。知識・技能に関しては、目標値を上回った。	観点別では、全ての観点において、目標値を上回った。一方で、社会的な思考・判断・表現の観点では、正答率がやや下がる傾向が見られた。また、領域別では、「市の様子の変り変わり」の正答率が目標値を下回った。

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・「くらしの移り変わり」における道具の変遷や人々の暮らしの様子の変化についての理解を問う問題で、正答率が低かった。正しい知識・技能の習得に個人差があるといえる。	・資料に着目して、火事が起きたときの消防自動車の出動について現場の建物の高さとの関連を捉え、表現する問題の正答率が低かったことから、資料を読み取り、自分の言葉で的確に表現する力が不十分であるといえる。	・目標値を上回り、社会科の学習に意欲をもって取り組んでいるといえる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 5年生は、ほとんどの問題で目標値を上回っており、知識がほぼ身に付いているということが分かる。 ・ 6年生は、知識・技能の分野では、ほぼ目標値を上回っているため、おおむね知識・技能が身に付いているということが分かる。	・ 5年生は、地形に着目して、人口の過疎や集中について考える問題の正答率が低かった。 ・ 6年生は、日本の輸入品の変化について、複数の資料を関連付けて、その背景を捉え、判断する問題で正答率がやや低かった。 以上2点から、複数の資料を関連付けて、読み取ったことを判断・表現する力が不十分であるということがわかった。	・ 目標値を上回り、社会科の学習に意欲をもって取り組んでいる児童が多いといえる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 調べ学習では、教科書を中心に資料の活用の仕方を繰り返し指導する中で、資料活用の技能を向上させる。 ・ 教科書に出てくる名称、地名等の重要語句は、確実に理解させ、知識として定着させる。 ・ 教科書の内容を、実生活と関連付けたり、<u>体験的な学習活動を経験したりしながら整理</u>し、発表する機会を設定する。	・ 方位磁針と地図の方位について、生活経験を引き合いにして実感的にとらえさせる。 ・ 調べ学習、体験学習、取材や見学等、様々な学習活動を行い、思考・判断する場をたくさん設ける。 ・ <u>調べた事実をもとに考える習慣を付ける。</u>さらに、発表し合う場を設け、<u>考えを整理したり友達の意見を聞いたりする。</u>	・ 児童に疑問をもたせたり、興味を引き出したりしながら学習課題をつくる。 ・ <u>学習のめあてを明確にし、自分の生活と関連付けた課題を見付けさせる。</u>

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ <u>資料やICTなどを活用して、視覚的な理解を深める。大事なキーワードと、その意味や内容を正しく理解できるようにする。</u> ・ 学習から得た知識を定着させる為に、復習プリントなどを活用する。 ・ 調べ学習では、様々な資料を活用できる機会を設け、<u>複数の資料から読み取り、考える力を伸ばす。</u> ・ 地図に関する学習では、発展的な問題に継続して取り組むと同時に、授業中に地図帳を活用する場面を設ける。 ・ 新聞作りやノート作りを通して、資料や自分の考えをまとめる力を伸ばす。 ・ 教科書の内容を、実生活と関連付けたり、<u>体験的な学習活動を経験したりしながら整理</u>し、発表する機会を設定する。	・ 調べ学習、取材や見学等、様々な学習活動を通して、思考・判断する場をたくさん設ける。 ・ 調べたことや考えたことを発表し合う場を設けて、自分の考えを広めたり深めたりできるようにする。発表やまとめの際に、社会で使用する用語を確認し、児童が使えるように指導する。 ・ <u>複数の資料を関連づけて「なぜ～なのか」など問題解決的な学習を充実させる。</u> ・ <u>資料から読み取ったことを、自分の言葉で的確に表現する力が付くように、ペアやトリオでの話し合いの活動を充実させる。</u>	・ <u>児童に疑問をもたせ、興味を引き出しながら学習課題をつくる。</u> ・ 学習のめあてを明確にし、自分の生活と関連付けて学習させる。